

東映衛星放送株式会社

第14回番組審議委員会議事録

開催日時： 平成30年9月11日（火） 11時30分～13時00分

開催場所： 銀座 Sun-mi 本店

委員の出席： 委員の総数 8名 出席委員数 8名

出席者：

（番組審議委員）

星野岳志（委員長）、脇田巧彦、有山弘道、秋本鉄次、杉恭介、常見美佐子、赤城聡、伊藤さと
とり

（以上 敬称略）

（放送事業者側出席者）

代表取締役社長 香月純一

編成営業部 部長 山本健太郎

編成営業部 次長 高村美穂

議題： 「東映チャンネル」の編成内容に関する審議

放送事業者側出席者より、東映チャンネルの現況、最近の市場環境、「東映チャンネル」の編成内容に関する説明ののち審議に入った。

<番組審議委員の発言>

1. 今年、110度CS上でのHD化やベーシック商品への参入など、チャレンジングな年になるだろう。邦画各チャンネルとも様々なトライアルが見られる。東映チャンネルも話題性のある司会者で映画のナビゲート番組を制作し、メディアとコラボするなど試行錯誤してもらいたい。
2. 10月から始まる開局20周年記念編成は、東映チャンネルらしい内容だ。
3. 若年層のテレビ離れはさらに進み、ゲームやネット動画、VODに流れているようだ。東映チャンネル潜在顧客である若年層に、いかにテレビを観てもらうかが課題だ。

4. 若年層の取り込みのため、ネット動画をうまく活用してほしい。来年松田優作が没後 30 年になるが、例えば主演作の 4K 上映会とトークショーなどのイベントを行い、その一部をネット動画に流すことで、今まで東映チャンネルがリーチしなかった層にアピールできるのではないかな。
5. 東映チャンネル加入者は男性が多いが、女性層の取り込みのために、是非女性向けの作品も編成してほしい。現在放送中のレジェンドトークやピンスポは作品製作の苦労話が魅力であり、もっと増やしてもらいたい。「東映特撮 YouTube Official」には東映の特撮番組が出ているが、東映チャンネルとは競合関係にあるのではないかな。
6. 110 度 CS における HD 化は評価できる。『孤狼の血』公開時に、公開記念特集を組んでいたが、今後も新作映画の公開にあわせた特集はどんどん組んでほしい。アマゾンプライムなどの動画プラットフォームにも東映作品は多く出ている。そろそろ東映チャンネルもオンデマンドにも対応してほしい。
7. この一年、希少価値のあるお蔵出し作品がかなり出てきた。東映チャンネルのコアなファンの期待に応える企画だ。今年は名和宏さん、津川雅彦さんと相次いで亡くなったが、「レジェンドトーク」に関しても、少し若い世代の俳優や脇役で活躍された人など、裾野を広げて取材してほしい。ご当地を切り口に特集を組むなど、新たな切り口を取り入れてほしい。
8. 東映チャンネル開局当時は、「東映」作品の暴力的な魅力が支持されたが、今は時代が変わり、暴力に対する拒否感が強くなっている。万人受けのプログラムにするか、突出したプログラムにするか方向性の選択が迫られる時があるだろうが、是非東映チャンネルらしいプログラムにしてほしい。放送時間帯に関して、特集の連日放送が 20 時台に来ることが多いが、この時間帯は他局との競争になる。少しずらした時間帯にも組んでほしい。日活ロマンポルノや R シネマは年配層からも需要が高いジャンルなので積極的に放送してほしい。

<事業者側の回答>

(5. 6. に関連し)

配信権と放送権は異なるため、オンデマンドサービスへの参入は簡単ではないが、時勢ではあるので引き続き検討事項としたい。

以上